

## 10. 治山

### (1) 治山事業の概要

治山事業は、森林の公益的機能を発揮させるため造林的・土木的手段を講じることにより、山地に起因する災害から地域住民の生命・財産を保全し、また水源のかん養、生活環境の保全・形成等を図り、安全で安心できる豊かな暮らしの実現を図るうえで必要不可欠の重要な事業である。

事業実施に当たっては、地域からの要望等をもとに、山地にあつては、荒廃地の復旧や予防、水源地域の整備、海岸にあつては、防災林造成や保安林改良・保育及びレクリエーションの場としての森林の環境整備等を積極的に実施しているところである。

### (2) 令和5年度治山事業実績

事業区分	箇所数	施工箇所	数量
緊急予防治山	2	名護市古我知 国頭村伊地	地山補強土工 821.4m <sup>2</sup> 、 補強土工 474.1m <sup>2</sup> 、土留工 2基
防災林			
海岸防災林造成	1	伊是名村勢理客	防風工 391m、植栽工 2,900本
防風林造成	1	伊是名村内花	防風工 562m、植栽工 1,604本
保安林整備			
保育	2	伊平屋村、伊是名村	下刈工 4.44ha、施肥工 17,000本 除伐 0.12ha
沖縄振興公共投資交付金			
予防治山	3	大宜味村津波 名護市大浦 伊江村東江上	地山補強土工 796.4m <sup>2</sup> 地山補強土工 932.9m <sup>2</sup> 補強土工 514m <sup>2</sup> 、落石防護柵工 87.8m
合          計	9		



保安林緊急改良（伊是名村内花）



緊急予防治山（国頭村伊地）

# 11. 林地開発許可

## (1) 制度の趣旨

森林は、木材や特用林産物等の経済的機能と併せて災害の防止、水源のかん養、環境の保全といった公益機能を有していることから、特に公益的機能の高い森林については森林法の規定する保安林制度に基づき、その保全及び形成が図られてきたところである。

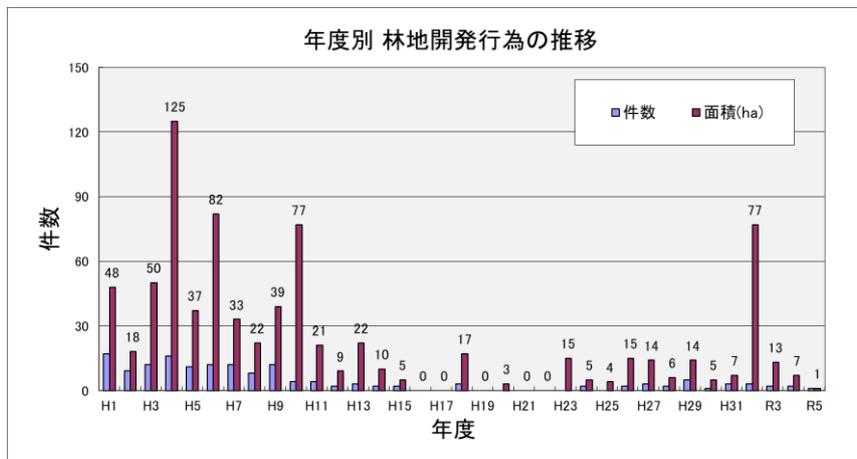
しかしながら、近年の高度経済成長、都市化の進展など社会経済情勢の変化に伴い、法的規制措置が講じられていない森林において無秩序な開発行為が見受けられるようになった。

このようなことに対処するため、昭和 49 年に森林法が改正されて「民有林における開発行為の許可制」が導入された。

## (2) 管内の現状

管内の民有林面積は全县の 60%を占め、本県林業の中心的役割を果たしている。一方、重要な水資源地域であり、更に貴重な動植物が分布するなど機能の高い森林が多いことから、開発行為の審査等に当たっては特に慎重を期している。

昭和 50 年からの開発行為状況は、農用地の造成 576ha (33%) とゴルフ場の設置 456ha (26%)、ダム等の設置 156ha (9%)、道路の新設又は改築 111ha(6%)で全面積の約 8 割を占めている。林地開発のピークは昭和 63 年度の 19 件、205ha であった。近年は、沖縄科学技術大学院大学の整備、リゾート関連ホテル、レジャー施設の整備などが見られる。



林地開発行為の許可等件数及び面積 (S50～R5年度 (新規件数のみ))

単位：開発に係る森林面積 (ha)

開発目的	林地開発許可		林地開発連絡調整		開発行為合計		
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	面積%
別荘地の造成	2	63	-	-	2	63	5%
ゴルフ場の設置	13	456	-	-	13	456	38%
宿泊施設・レジャー施設の設置	17	68	-	-	17	68	6%
工場・事業場用地の造成	17	71	8	15	25	86	7%
住宅団地の造成	8	51	2	2	10	53	4%
土石等の採掘	6	102	0	0	6	102	9%
農用地の造成	67	200	8	25	75	225	19%
道路の新設又は改築	-	-	14	48	14	48	4%
学校・博物館用地の造成	-	-	4	8	4	8	1%
公園・運動場等の造成	-	-	3	22	3	22	2%
ダム等の設置	-	-	4	20	4	20	2%
その他	8	28	8	17	16	45	4%
<b>計</b>	<b>138</b>	<b>1,039</b>	<b>51</b>	<b>158</b>	<b>189</b>	<b>1,197</b>	<b>100%</b>

※ 2件の廃止があったため実績とは異なる。

## 12. 林業構造改善事業

### (1) 事業の概要

林業構造改善事業は、林業の安定的な発展を図り、林業従事者の所得を増大して、経済的・社会的地位の向上を図ることを目的とし、本県においては昭和 52 年からの沖縄林業振興特別対策事業を皮切りに数次にわたり林業構造改善事業を実施し、地域の特性を活かした林業振興を図ってきている。事業内容は、特用林産物や緑化木等の生産加工施設、森林公園の整備、木材加工施設の整備等多種多様である。

### (2) 近年の事業内容

区分	本部町	金武町
事業期間	平成24年度	平成26年度～平成27年度
事業費	32,295千円	74,551千円
事業主体	もとぶバイオマス事業協同組合	企業組合キンモク
事業内容	森林バイオマス等活用施設(機械等)	木材加工流通施設(製品保管施設)
区分	伊是名村	東村
事業期間	平成29年度～平成30年度	令和2年度～令和3年度
事業費	63,237千円	230,074千円
事業主体	伊是名村	スモール農園ひがし生産企業組合
事業内容	森林空間活用施設整備(駐車場等)	特用林産物生産施設 (キノコ生産施設一式)



もとぶバイオマス事業協同組合 (本部町)



企業組合キンモク (金武町)



伊是名村



スモール農園ひがし生産企業組合 (東村)

## 13. 特用林産物

### (1) 特用林産物の概要

特用林産物とは、森林から生産される全ての林産物から木材を除いた産物の総称である。種類や用途は多種多様で、きのこ・たけのこ等の食文化に関するものや、紬の糸や染色原料等の衣に関するものがあり、樹皮・枝葉・根株・果実などが利用されている。

林業構造改善事業等の補助事業及び林業改善資金等により、生産施設等が整備され、生しいたけ、えのきたけ、たけのこ、木炭などの特用林産物が広く生産されている。

管内においては、平成14年に今帰仁村のえのきたけ生産施設の整備を皮切りに、平成19年に国頭村においてぶなしめじ、平成23年に名護市に菌床しいたけ、平成25年に今帰仁村にエリンギ、令和3年に東村に菌床しいたけの生産施設等が整備され、きのこ類の生産が拡大している。



菌床しいたけ（名護市）

### (2) 特用林産物生産量の推移

特用林産物の生産量に占める北部管内生産量

作目名	単位	北部管内の生産量					令和5年全県の生産量	北部管内の占有率	備考
		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年			
しいたけ	t	54.3	85.8	98.6	92.2	76.72	77.765	98.66%	
えのきたけ	t	649.2	634.6	631.1	620	549.744	549.744	100.00%	
ぶなしめじ	t	546.4	526.1	501.3	272.1	277.374	277.374	100.00%	
エリンギ	t	130.7	118.9	116.3	112.7	111.343	111.343	100.00%	
その他きのこ	t	14.9	16	21.2	23.4	18.783	31.18	60.24%	
たけのこ	t	0.4	0.2	0	0	0	0	0.00%	
木炭	t	98.9	83.3	59.8	53.7	52.696	55.282	95.32%	木炭とは黒炭、粉炭、竹炭である
薪	m3	-	-	-	228	235.81	266.15	88.60%	
オオタニワタリ	千枚	815	521.9	831.1	705.8	747.22	747.22	100.00%	切り葉用のみ
ユーカリ	-	2.4	2.4	3,200	3,200	2,800	2,800	100.00%	

※「その他きのこ」はクロアワビタケ、アラゲキクラゲである。

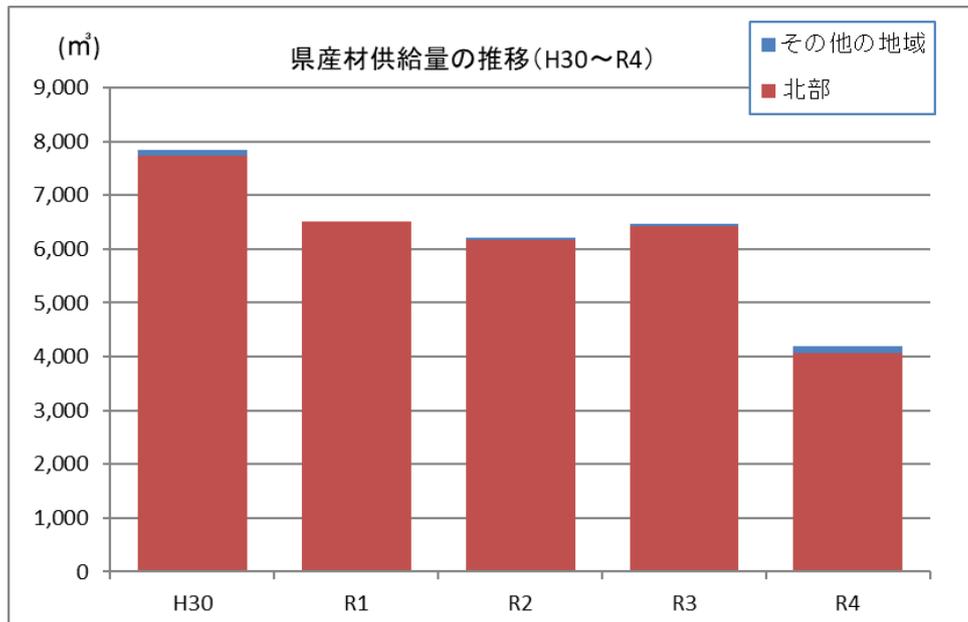
※「ユーカリ」の単位は平成28年から令和元年まではトン、令和2年以降は本である。

## 14. 木材需給

### (1) 木材需給の概要

県における令和4年度の木材需給量は121.9千 $m^3$ で、その内訳は、輸入材8.9千 $m^3$ 、移入材（県外から購入した国産木材）108.8千 $m^3$ 、県産木材4.2千 $m^3$ であり、木材自給率は3.4%となっている。

県産木材のうち、9割以上が北部の森林から生産されている。



### (2) 県産材利用状況

管内で生産された木材は、主に製材用やオガ粉、チップ等として利用されている。また、管内には製材工場が2事業所あり、チップ・オガ粉を取り扱う工場は3事業所ある。（令和5年度末現在）



オープンラック、壁掛けボード



菌床用オガ粉



木製什器

## 15. 林業普及指導

### (1) 林業普及指導事業

林業普及指導事業は森林所有者等に対し、林業に関する技術及び知識の普及並びに森林施業に関する指導を行い、林業技術の改善、林業経営の合理化、森林の整備等を促進し、地域林業の振興及び森林所有者等の所得の向上を図るため、下記事項を重点的に推進している。

- ①森林施業の促進
- ②特用林産物の生産振興
- ③森林被害対策の推進
- ④林業後継者等担い手の育成確保
- ⑤県産木材の利用促進
- ⑥森林の公益的機能の促進
- ⑦林業経営指導
- ⑧森林・林業に関する技術・知識の普及・指導

#### ○森林施業の促進



森林調査の勉強会

#### ○特用林産物の生産振興



きのこ生産指導

#### ○県産木材の利用促進



製材に係る勉強会

#### ○森林・林業に関する技術・知識の普及・指導



プレゼン資料作成勉強会

## (2) 林業普及指導協力員

森林・林業に関して専門的な技術や知識を持った人材を林業普及指導協力員として認定し林業普及指導員と協力し効率的な普及指導活動を実施する。なお、管内においては以下の 10 名が認定されている。

(令和 6 年 3 月末現在)

番号	氏名	所在	分類	専門分野
1	上野 和昌	名護市	森林インストラクター	森林教育
2	山城 勝則	大宜味村	その他(シイタケ生産)	特用林産
3	平田 嗣雄	東 村	指導林家(シイタケ生産)	特用林産
4	山城 健	国頭村	その他	林産
5	仲地 本吉	名護市	その他(木炭生産)	特用林産
6	上原 学	名護市	指導林家(シイタケ生産)	特用林産
7	渡口 直樹	国頭村	その他	森林教育
8	比嘉 進	国頭村	その他	林産
9	山川 安雄	国頭村	その他	森林利用
10	吉元 充	本部町	樹木医	森林利用



林業普及指導協力員による木育活動  
(北部農林高校)

## (3) 林業研究グループ

林研グループ（林業研究グループ）は、森林づくりの技術や経営改善、地域づくりや交流など森林・林業にかかわる活動をする自主的なグループを結成し、学習及び地域活動を展開している。なお、管内においては以下の 3 グループが活動している。

(令和 6 年 3 月末現在)

名称	会員数	市町村	備考
国頭村林業研究会	19	国頭村	
沖縄北部森林組合林業研究グループ	14	名護市	
やんばる菌床しいたけ研究会	2	名護市	

## 16. 森林組合

### (1) 森林組合の概要

管内の森林組合は、国頭村以外の 11 市町村で構成する沖縄北部森林組合と、国頭村単独の国頭村森林組合の 2 組合がある。

森林組合は、組合員が協同してその経済的社会的地位の向上及び森林の保続培養、森林生産力の増進を図ることを目的としている。

事業内容は、地域の森林管理の担い手として造林事業、治山事業、松くい虫防除事業等を主要事業として取り組み、また販売・購買事業にも力を入れている他、最近では、森林環境譲与税等による森林資源を活用した新たな事業や貴重な野生動植物の保護のための林道パトロール事業等にも取り組んでいる。

#### 森林組合の組織の現状

項目	組合名	沖縄北部森林組合		国頭村森林組合	
		令和5年6月	令和6年6月	令和5年6月	令和6年6月
正組合員数	計	162 人	163 人	179 人	172 人
	正組合員数	66 人	65 人	147 人	142 人
	準組合員数	96 人	98 人	32 人	30 人
役員	常勤理事	1 人	1 人	1 人	1 人
	非常勤理事	12 人	13 人	4 人	3 人
	監事	2 人	2 人	3 人	3 人
職員数		3 人	3 人	5 人	5 人
出資状況	一口の金額	500 円	500 円	10,000 円	10,000 円
	出資口数	39,648 口	39,680 口	3,134 口	3,132 口
	払込済出資額	19,824,000 円	19,840,000 円	31,340,000 円	31,320,000 円
	法人設立年(登記)	昭和49年6月11日		昭和59年9月14日	
代表理事組合長名		渡具知 武豊	渡具知 武豊	宮城忠信	宮城忠信
事務所所在地		名護市宇茂佐913の2 tel 0980-52-0412		国頭村与那1258 tel 0980-41-5421	



沖縄北部森林組合 収穫伐採



国頭村森林組合 工場内ヤード

## 17. 県民の森

### (1) 概 要

森林との触れ合いと自然観察、体系的な展示モデルによる森林学習、林業生産活動を通して学ぶ森林・林業の役割等についての知識の向上、森林レクリエーションを通じた県民の健康増進など、総合的に森林・林業の普及啓発を図るため、恩納村内に「県民の森」を整備（S58～H5）、昭和61年度から供用を開始した。なお、平成18年4月から指定管理者制度の導入により、運営管理を行っている。

総面積181haの敷地内に総合案内棟をはじめ、用具貸出棟、木のふれあい館、森のふしぎ館、各種広場、キャンプ場、シャワー室のほか、森の中を観察することができる自然観察道（登山コース及び溪流コース）、花や緑とふれあうことのできる花木園及び桜園、パークゴルフコースがあり、県民に広く利用されている。また、グランドゴルフ及びパークゴルフの用具、自転車、テントなどの貸出も行っている。

供用開始から30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいたことから、令和元年度に「沖縄県民の森個別施設計画」を策定。特に施設の老朽化が著しい「学習展示館」と「森林科学館」は、令和2～4年度にかけて大規模改修を行い、令和4年9月に新たに「木のふれあい館」、「森のふしぎ館」としてリニューアルオープンした。

位 置：国頭郡恩納村字安富祖、名嘉真及び喜瀬武原（恩納村有林内）

面 積：181ヘクタール

開園時間：9:00～18:30(4月1日～8月31日)、9:00～17:30(9月1日～3月31日)

施設概要：	①建築物	総合案内棟、木のふれあい館、森のふしぎ館、用具貸出棟、広場トイレ（2棟）、あずまや（3棟）、シャワー室
	②広場等	冒険広場（草スキー場・自転車道・遊具等の施設：9,180㎡） 中央広場（13,440㎡）・パークゴルフ場（18ホール：10,724㎡：7,937㎡+桜園芝2,787㎡） スポーツ広場（7,400㎡）・キャンプ場（14,830㎡） 桜園（6,687㎡：森3,900㎡+芝広場2,787㎡）・花木園（1,410㎡） 市町村の森（1,200㎡）・緑の日制定記念の森（1,000㎡）
	③その他	自然観察道（遊歩道） 登山コースC（約1,300m）、登山コースA（約600m）、 登山コースB（約500m）、溪流コース（約900m） 駐車場（4カ所・435台） 森のふしぎ館近く（普通乗用車200台、バス10台）、樹木園（普通乗用車21台） キャンプ場（普通乗用車150台、バス4台）、スポーツ広場前（普通乗用車50台）



自然観察道



## 18. 緑化

### (1) 緑化の概要

緑は、潤いと安らぎのある生活環境はもとより、県土の保全や自然環境の保全、景観の形成として重要であるのみならず、産業の振興や地域の活性化に大きく寄与している。

そのため、県では、緑の重要性を認識し、亜熱帯沖縄の特性を生かした緑豊かで潤いと安らぎのある、100年先を見据えた「緑の美ら島」の創生をめざして、平成23年度に、県の緑化施策の総合計画として「緑の美ら島づくり行動計画～緑の美ら島の創生をめざして～」を策定し、本計画に基づき、多様な緑化事業を推進している。

### (2) 令和4年度緑化コンクール受賞者

#### 1 学校環境緑化の部

年度	部門別	表彰区分	団体名等	備考
令和4年度	小中学校	入選（会長賞）	今帰仁村立兼次小学校	

#### 【学校環境緑化の部】

今帰仁村立兼次小学校（入選（会長賞））



百周年記念園庭



ホウオウボク植栽



校庭の様子



児童による植栽

## 19. 鳥獣保護

### (1) 鳥獣保護の概要

野生鳥獣は人間生活に安らぎを与え、農林水産業にも有益なため、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に基づき、5年を一期として鳥獣保護事業計画(R4.4.1からR9.3.31まで)を樹立し、野生鳥獣の保護繁殖に努めている。

鳥獣保護行政については、鳥獣保護事業計画、鳥獣保護区、鳥獣の捕獲許可、狩猟免許制度に関する業務を実施している。

### (2) 鳥獣保護区等

名 称	面積(ha)		期 間	備 考
	鳥獣保護区	特別保護区		
西 銘 岳	84	30	2035. 10. 31	
佐 手	158	58	2035. 10. 31	
※やんばる(安田)	1,279	220	2029. 10. 31	
与那覇岳	666	23	2035. 10. 31	
※やんばる(安波)	465		2029. 10. 31	
大 保	240		2024. 10. 31	
※屋我地	3,217	1,001	2026. 10. 31	
名護岳	371	207	2035. 10. 31	
恩 納	458		2035. 11. 14	
山 田	186		2035. 11. 14	

※は国指定

### (3) 休 獵 区

名 称	面積(ha)	期 限	備 考
恩 納	10,200	2022. 11. 14	令和5・6年度は該当なし

### (4) 鉛散弾規制地域

名 称	面積(ha)
伊是名島	1,409

### (5) 鳥獣捕獲許可件数(令和5年度(令和6年6月現在)) ※北部農林水産振興センター許可分

捕 獲 許 可	鳥 獣 捕 獲 数			
	カラス	イノシシ	ドバト	ドバト(卵)
件数				

## 20. 森林環境税及び森林環境譲与税

### (1) 森林環境税及び森林環境譲与税の目的

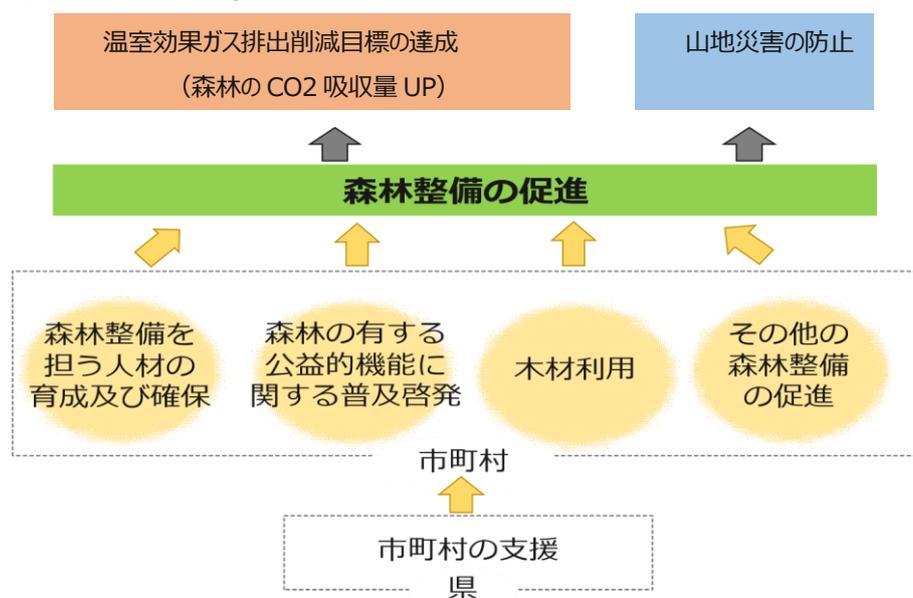
森林環境税及び森林環境譲与税は、「温室効果ガス排出削減目標の達成」や「山地災害防止」等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るために、市町村及び都道府県が実施する森林の整備及び促進に係る施策の財源に充てるため、地方財源を安定的に確保することを目的に創設されました。

森林環境税は、国税として令和6年度から1人あたり年額1,000円を市町村が賦課徴収します。

森林環境譲与税は、令和元年度から市町村及び県へ譲与されています。

### (2) 森林環境譲与税の使途

森林環境譲与税は、市町村においては、①森林の整備に関する施策、②「森林の整備を担うべき人材の育成及び確保」、③森林の有する公益的機能に関する普及啓発、④木材の利用の促進などの施策に要する費用に充てなければならないとされており、また県においては、市町村が実施する施策の支援に関する施策とされています。



森林環境譲与税の活用実績



うんな中学校理科室 県産材木使用椅子購入



国頭村議会県産材木使用

## 21. 予算の推移（決算ベース）

単位：千円

項 目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
現 年	林業費	339,553	276,479	296,490	285,206	312,757	
	林業総務費	1,809	1,582	1,787	1,419	8,708	
	林業振興指導費	29,219	11,614	27,188	12,197	22,279	
	森林病虫害防除費	25,829	24,147	29,582	27,036	28,067	
	造林費	58,659	48,002	76,634	38,941	57,901	
	林道費	12,530	12,209	28,003	16,951	23,908	
	治山費	211,508	178,926	122,012	199,946	171,894	
	農林水産施設災害復旧費	22,658	9,976	45,093	58,679	43,022	
	林業災害復旧費	22,658	9,976	58,679	45,093	43,022	
	環境保全費	—	—	—	—	40	
	環境保全費	—	—	—	—	40	
	自然保護費	—	—	—	—	—	
	都市計画費	—	—	—	—	495	
	公園費	—	—	—	—	495	
小計	339,553	286,455	341,584	343,885	356,314		
繰 越	林業費	4,575	87,828	49,340	72,654	265,505	
	林業振興指導費	—	—	—	—	—	
	造林費	—	—	—	—	—	
	林道費	4,575	—	72,654	—	—	
	治山費	—	87,828	—	49,340	265,505	
	農林水産施設災害復旧費	25,606	17,207	20,582	—	31,395	
	林業災害復旧費	25,606	17,207	—	20,582	31,395	
	小計	30,181	105,035	69,922	72,654	296,900	
合計	392,392	391,490	411,506	485,382	653,214		



第30回漢那ダムまつり



木育(今帰仁小学校)

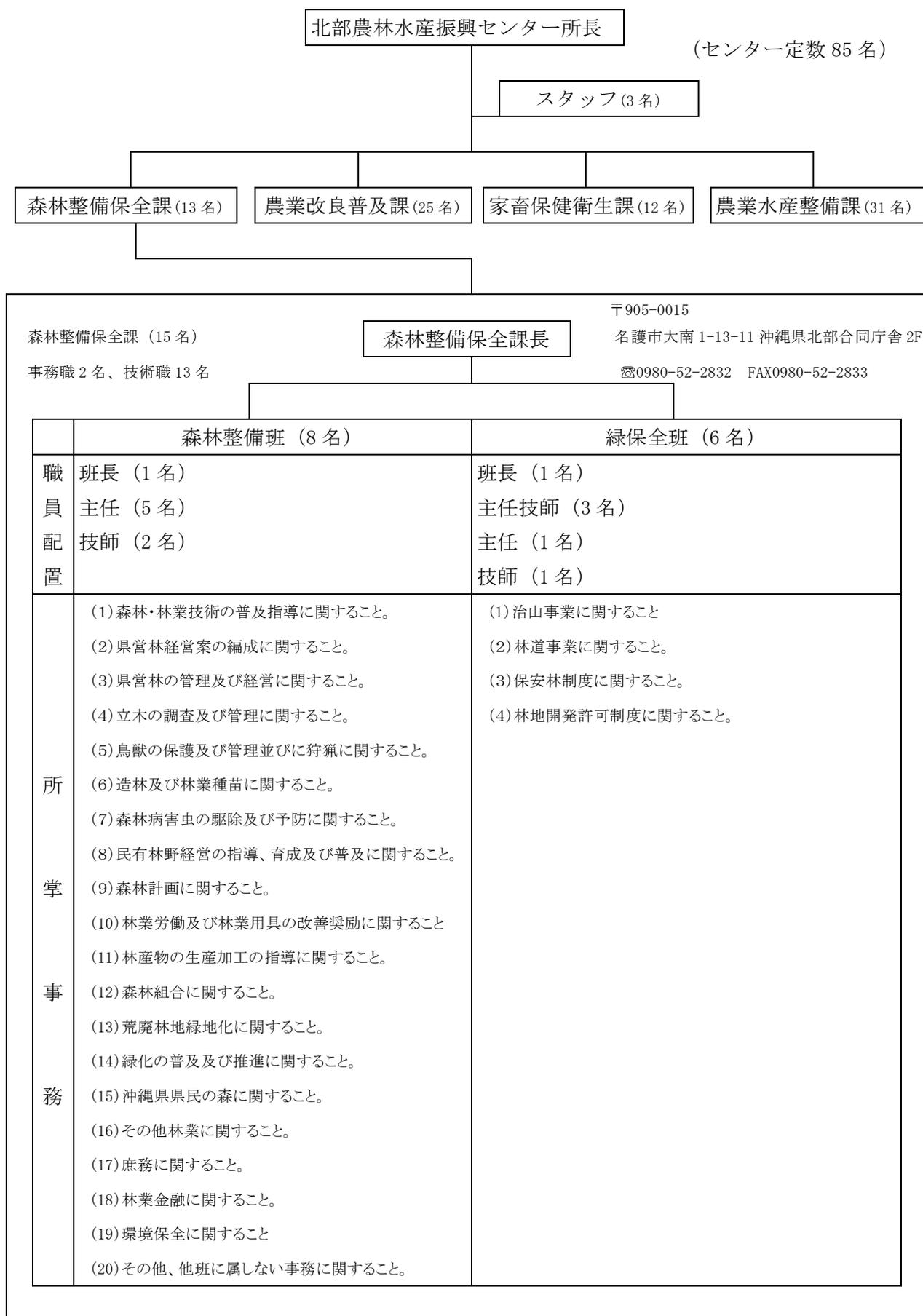


徳之島三町林業振興協議会 現地案内



北部林業研究会(八重山地域視察)

## 22. 森林整備保全課組織体系及び所掌事務（令和6年4月1日現在）



## 23. 資料（北部管内）

（令和6年4月現在）

## (1) 市町村別土地面積及び森林面積

No.		区域面積① (ha)	森林面積 (ha)			森林率
			総数②	国有林	民有林	
	県計	228,220	106,248	32,153	74,095	47%
	北部計	82,557	52,590	7,561	45,029	64%
1	名護市	21,094	13,740		13,740	65%
2	国頭村	19,480	16,446	3,981	12,465	84%
3	大宜味村	6,355	4,826		4,826	76%
4	東村	8,188	5,952	3,549	2,404	73%
5	今帰仁村	3,993	1,347		1,347	34%
6	本部町	5,437	2,085		2,085	38%
7	恩納村	5,084	2,925		2,925	58%
8	宜野座村	3,130	1,554		1,554	50%
9	金武町	3,793	2,020		2,020	53%
10	伊江村	2,278	144	24	119	6%
11	伊平屋村	2,182	1,189	7	1,182	54%
12	伊是名村	1,543	363		363	24%

※合計と内訳は四捨五入により必ずしも一致しない。

## (2) 市町村の木・花・花木の指定状況

NO	市町村名	木	花	花木	制定年月日
1	国頭村	イタジイ	サクラツツジ	イジュ	S57.12.15
2	大宜味村	シークワサー	シークワサー	—	S62.8.1
3	東村	ヒルギ	ツツジ	—	S53.4.1 (花)
4	今帰仁村	リュウキュウマツ	ハイビスカス	—	S60.3.13
5	本部町	フクギ	ラン	サクラ	S62.12.10
6	名護市	ガジュマル	テッポウユリ	ヒカンザクラ	S48.8.1
7	恩納村	フクギ	オオハマボウ(ユナ)	—	S48.5.15
8	宜野座村	リュウキュウマツ	ツツジ	—	S57.7.29
9	金武町	クバ	サクラ	—	S52.11.21 (木) S53.1.6 (花)
10	伊江村	ガジュマル	テッポウユリ	サルスベリ	S60.2.5
11	伊平屋村	クバ	ツツジ(トウサツキ)	—	H元.8.7
12	伊是名村	ウバメガシ	トウサツキ	—	H元.3.22

### (3) おきなわの名木百選

沖縄は地理的・学術的にも価値の高い植物が生育し、また歴史や風俗に由来する文化的価値のある樹木が多く存在する。そのため、県では県内各地に生育する巨樹・巨木等を名木として認定し、ふるさとの貴重な樹木への関心と理解を高めることを目的として認定されている。管内においては、41の名木が認定されている。

市町村	認定番号	認定年度	名称	樹種	所在地	推定樹齢
国頭村	1	H14	比地小玉森の大アカギ	アカギ	国頭村字比地 49	400年
	24	H15	奥間土帝君の大キリ	リュウキュウハリギリ	国頭村字奥間 1816-1	150年
	53	H17	辺戸の蔡温松	リュウキュウマツ	国頭村字辺戸	150～300年
	86	H19	伊部岳のオオウラジロガシ	オキナワウラジロガシ	国頭村字安田	300年以上
	112	H24	辺土名小学校のセンダン	センダン	国頭村字辺土名 181	110年
大宜味村	25	H15	上原のクワージ	シマグワ	大宜味村字上原	100年
	40	H16	塩屋のハスノハギリ	ハスノハギリ	大宜味村字塩屋	300年
	54	H17	喜如嘉のミフクラギとフクギ	オキナワキョウチクトウ、フクギ	大宜味村喜如嘉	75年以上
	106	H23	宮城区のデイゴ	デイゴ	大宜味村字宮城地内	27年
	137	R2	旧大宜味小学校跡地のシマンター平松	リュウキュウマツ	大宜味村字大宜味 1	150年
東村	3	H14	サキシマスオウノキ	サキシマスオウノキ	東村字川田 261	100～150年
	70	H18	シランキー（名前の知らない木）シルギー、シラキー（樹皮が白い木）	オガタマノキ	東村字有銘 29-1	200年以上
今帰仁村	26	H15	アカギ	アカギ	今帰仁村字与那嶺 119	120年
	27	H15	フパルシ	コバテイシ	今帰仁村字今泊 3117	400年
	71	H18	天底小学校のガジュマル	ガジュマル	今帰仁村字天底	160年
本部町	4	H14	夫婦デイゴ（取り消し）	デイゴ	本部町字伊豆味 13	200年
	28	H15	デイゴ	デイゴ	本部町字辺名地 52	200年
	72	H18	備瀬のフクギ並木	フクギ	本部町備瀬	300年
	139	R5	浜元のアンマーフチュクル	ガジュマル	本部町字浜元 121	150年
名護市	5	H14	ひんぷんがじまる	ガジュマル	名護市大東 1丁目 299	280～300年
	29	H15	済井出（ススイデ）のアコウ	アコウ	名護市済井出 18-1	200年
	113	H24	東江のミフクラギ	オキナワキョウチクトウ	名護市字東江 159番地	200年
	114	H24	真喜屋のサガリバナ集落（舞香花モーカバナ）	サガリバナ	名護市字真喜屋 152-1、53、153-1、156に囲まれる里道	150年・20年
	115	H24	幸地河原ハーブ前のデイゴ（夫婦デイゴ）	デイゴ	名護市大東 298-2番地	100年
	116	H24	瀬喜田小学校のセンダン	センダン	名護市字幸喜 4番地 1	105年
138	R2	安和小学校のガジュマル	ガジュマル	名護市字安和 174	85年	
宜野座村	42	H16	漢那のハスノハギリ	ハスノハギリ	宜野座村字漢那 1840	200年
金武町	43	H16	観音寺のフクギ	フクギ	金武町字金武 222	350年
	55	H17	伊芸のがじまる	ガジュマル	金武町字伊芸 33	300年
	73	H18	ガジュマル	ガジュマル	金武町字金武 151	40年
伊江村	8	H14	ガジュマル（取り消し）	ガジュマル	伊江村字東江上 210	100年以上
	30	H15	タブノキ	タブノキ	伊江村字東江上 75	100年以上
	74	H18	ニーバンガズィマール	ガジュマル	伊江村字西江前 194	100年
	124	H25	ガジュマル	ガジュマル	伊江村字東江上 207番地	300年
	125	H25	フクギ	フクギ	伊江村字東江上 338番地	320年（平成式）
伊平屋村	6	H14	念頭平松	リュウキュウマツ	伊平屋村字田名	300年
伊是名村	7	H14	ノロ殿内のデイゴ	デイゴ	伊是名村字伊是名 839	350年
	56	H17	伊是名小学校のガジュマル	ガジュマル	伊是名村字仲田 1134	74年以上
	75	H18	仲田みやらびの遊びどころ	ガジュマル	伊是名村字仲田 144	200～300年
	76	H18	ガジュマル	ガジュマル	伊是名村字諸見 421	100年
	87	H19	仲田はんたもうのガジュマル並木	ガジュマル	伊是名村字仲田 135	150年以上

#### (4)花と緑の名所 100 選

地域住民等が地域の花と緑に親しみ、一人一人が県土緑化を推進するとともに、地域活性化や産業振興に寄与するため、「花と緑の名所 100 選」を県では平成 23 年度から実施しており、管内においては、27 箇所が登録されている。

市町村	登録番号	登録年度	名称	所在地
国頭村	1	H23	国頭村森林公園のサクラ並木	国頭村字辺土名 1094-1 番地
	2	H23	辺戸蔡温松並木	国頭村字辺土名 121 番地
東村	3	H23	村民の森つつじ園	東村字平良 766-1
	4	H23	慶佐次湾マングローブ群落	東村慶佐次 54-1
今帰仁村	6	H23	仲原馬場のマツ並木	今帰仁村字越地（仲原馬場）
本部町	7	H23	八重岳サクラ	本部町八重岳
	8	H23	備瀬フクギ並木	本部町備瀬
	9	H23	伊豆味ベゴニア園	本部町伊豆味 1694 番地
	10	H23	伊豆味自然石庭	本部町字伊豆味 1614
	11	H23	ざまみ農園アジサイロード	本部町伊豆味 398 番地
	12	H23	海洋博公園/熱帯・亜熱帯都市緑化植物園	本部町字石川 424 番地
	13	H23	よへなあじさい園	本部町伊豆味 1 3 1 2
名護市	14	H23	名護中央公園	名護市字名護 5511
	15	H23	大川あじさい園	名護市大川 8-1
	57	H24	シークワサー花とみどりの里 勝山	名護市字勝山 467
	58	H24	宮里 3 丁目交差点「花と緑のオアシス」	名護市宮里 3 丁目交差点
	79	H27	クワディーサー通り(名護市港区)	名護市港 1 丁目 777-4 地先～名護市城 2 丁目 6536 地先
	86	H29	羽地、水田のコスモス	名護市川上、振慶名、田井等、真喜屋、稲嶺地内
恩納村	16	H23	県民の森	恩納村字安富祖 2028
金武町	17	H23	億首川マングローブ群落	金武町億首川
伊江村	18	H23	伊江島ハイビスカス園	伊江村字東江前 3614-1
	19	H23	伊江島リリーフィールド公園	伊江村字東江上 3087
	59	H24	古堅農園フラワーガーデン	伊江村字東江上ミナト原 30
伊平屋村	78	H27	念頭平松公園	伊平屋村田名東原 2319 番 1
	85	H29	田名のクバ山	伊平屋村字田名地内
伊是名村	20	H23	伊是名フクギ並木	伊是名村字仲田 1203 番地
	21	H23	伊是名山森林公園	伊是名村字仲田 1203 番地

### (5) 緑の少年団

緑の少年団は、次代を担う子供たちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした、自主的な団体で、管内においては12団体が設立している。

No	団体名	設立 年月日	所在地、学校名等
1	辺土名小緑の少年団	S54. 11. 14	国頭村字辺土名 181 辺土名小学校
2	奥間小緑の少年団	H2. 4. 25	国頭村字奥間 1 奥間小学校
3	伊是名村緑の少年団	H9. 4. 21	伊是名村字仲田 1163 伊是名小学校
4	今帰仁小学校緑の少年団	H10. 10. 15	今帰仁村字越地 207 今帰仁小学校
5	屋部小学校緑の少年団	H10. 11. 30	名護市字屋部 47 屋部小学校
6	伊江村緑の少年団	H15. 8. 19	伊江村字東江前 38 伊江村農林水産課
7	伊豆味小学校緑の少年団	H18. 11. 13	本部町字伊豆味 13 伊豆味小学校
8	兼次小学校緑の少年団	H20. 5. 1	今帰仁村字今泊 3933 兼次小学校
9	伊平屋村緑の少年団	H21. 4. 30	伊平屋村字我喜屋 251 伊平屋村農林水産課
10	金武町緑の少年団	H25. 5. 10	金武町字金武 1 金武町産業振興課
11	漢那小学校緑の少年団	H30. 5. 7	宜野座村漢那 1824 漢那小学校
12	安田小学校の緑の少年団	H30. 12. 17	国頭村字安田 279 番地 安田小学校

## (6) 森の名手・名人

平成14年度から(公社)国土緑化推進機構において、「もりのくに・にっぽん運動」のリーディングプロジェクトとして、「森づくり」「森の恵み」「加工」「森の伝承・文化」の4部門から、すぐれた技を極め、他の模範となっている達人を「森の名手・名人」として選定しており、管内においては、8名が選定されている。なお、「森の名手・名人」の選定は平成30年度をもって終了となった。

年度	部門 (生業等)	氏名	功 績	市町村
H15	加工部門 (ワラビ細工)	大城 タマ	ワラビ細工は、同村に古くから伝わる伝統工芸で、籠など日常生活用具として使われてきた。現在は代替品の出現により過去のものになりつつあるが、経験年数63年のベテランのワラビ細工士として、現在も趣向を凝らしたデザインの籠を展示販売しており、その評価は高く平成3年度には県文化功労者表彰も受けた。	今帰仁村
H18	森づくり 部門 (造林手)	大城 盛雄	長年にわたり、国頭村森林組合の作業班長として森林作業の重要性和育林作業の技術指導にあたり、若者の林業担い手育成と後継者や林業研究グループの育成にも力を注いでいる。また、県内の高校生への自然体験学習や環境教育の指導にあたるとともに、国頭村各種団体を主体とする講演会の講師としても活動を行っている。	国頭村
H20	加工部門 (木工業)	眞謝 剛	26年間にわたって木工芸に携わっており、近年は県産木材にこだわった製作活動を行っている。工房においては、月1回の木工教室を行い、一般参加者のほか都市部の文化サークルの活動を受け入れている。また、「夏休み親子木工教室」を毎年開催するなど、やんばるを中心とした地域活動の務めているほか、サラリーマンをしながら木工に携わる人への指導にあたるなど幅広く木工技術の普及啓発を行っている。	大宜味村
H21	森の伝承・ 文化部門 (染色・栽培)	上山 弘子	名護市の山間大湿帯に昭和55年から入植し循環型農業を始める。その傍ら独学で「生薬染め」を習得し婦人会で取り組みながら、名護市ふるさと創生人材育成事業の1期生として「琉球藍染め研究会塾」の活動を開始する。その後、「やまあい工房」を設立し、独自の製品を開発し名護市商工会主催の特産品コンテストに入賞。このことが評価されて「沖縄県地域資源活用型起業家事業」に認定され、新製品「美ら藍」を誕生させ各地で展示即売会を行う。	名護市
H22	加工部門 (製炭業)	玉城 凱宣	祖父の代から製炭業を営んでおり、自身も43年間炭窯づくりから炭焼きまでを行っている。現在は、多様化した需要に対して新しい製品を開発し、地域おこしに貢献している。また、地域の学校の総合学習を積極的に受け入れ、来訪者に対して希望があれば山中にある古い炭窯跡の案内もしている。	国頭村
H24	森の伝承・ 文化部門 (茅葺き :リュウキュウチク)	大田 孝全	父親が茅(リュウキュウチク)葺き屋根職人・大工だったことから、父の弟子として見習い修行を重ね、大工の棟梁としての地位を築いた。その後、30年前に国頭村奥間の神アサギを復元。以来、各地の神アサギや海洋博記念公園や名護市博物館の高倉の茅葺き等、多くの歴史的建築物の修復・保存に関わった。最近では国頭村楚洲で行われた映画撮影で「鬼太郎ハウス」の茅(リュウキュウチク)葺きを製作したものがある。	国頭村
H25	加工部門 (木工業)	宮城 和利	大工職で培った知識と技能を活用して独自の技術開発を行い、木製品の品質向上と製品開発に取り組む一方、木工技術の向上や技能の伝承を図りながら、木工製作に携わっている。主な作品としては、家具(収納棚・食器棚・仏壇)や、積み木、うす、三線等があり、その全てに気品と趣のある素晴らしい作品となっている。特に、氏の作り出す三線には地元産のイスノキが用いられ、島唄との相性がとても良いとの事。また、国頭村の各地区に東屋を建築し、地域住民の憩いの場として広く活用され、親しまれている。	国頭村
H28	森の伝承・ 文化部門 (わらび細工 : コシダ)	国吉 春子	今泊集落は、沖縄本島で唯一わらび細工が引き継がれている集落である。現在集落には、作り手は国吉氏を初め数名しかおらず、その中でも70年間と最も経験が長く、材料であるわらびを自ら採取する作り手である。国吉氏のわらび細工の作品は、いろいろなアイデアを取り入れ、新しい形のわらびかごを沢山生み出している。現在は、わらび細工の技術をご子息に受け継いでおり、沖縄の民芸品としてわらび細工が見直されている。	今帰仁村

## (7) 県植樹祭

回数	開催日	開催場所	大会テーマ	植樹	樹種
12	昭和 37 年 5 月 13 日	名護市クニダマタ貯水池	みどりの森で、豊かな郷土	8,600	モクマオウ、ソウシジュ、リュウキュウマツ
14	昭和 39 年 3 月 25 日	名護町名護城	郷土をみどりで包もう	540	タイワンハンノキ、リュウキュウマツ
16	昭和 41 年 3 月 25 日	名護町字喜瀬ブセナ崎	沖縄を緑の島に	1,100	モクマオウ、リュウキュウマツ、ソウシジュ
17	昭和 42 年 4 月 6 日	恩納村万座毛	防げ台風、育てよ森林	1,330	モクマオウ、リュウキュウマツ、ワシントンヤシ
19	昭和 44 年 3 月 14 日	名護市県有林南明治山	緑の山、国の栄え	200	シマナンヨウスギ
23	昭和 48 年 2 月 23 日	名護市 北部工業高等学校	学園を緑で包もう	880	モクマオウ、ソウシジュ、シマナンヨウスギ等
27	昭和 51 年 5 月 18 日	名護市久志中学校	学園を緑で包もう	874	モクマオウ、オキナワツゲ、デイゴ、リュウキュウマツ、ココヤシ
30	昭和 54 年 5 月 16 日	恩納村字安富祖 県民の森	緑で結ぼう村と街	1,700	ヤマモモ
36	昭和 60 年 6 月 8 日	東村東村民の森	君の未来、緑の地球	1,345	イジュ、サンダンカ、タマモクマオウ、リュウキュウマツ等
41	平成 2 年 4 月 29 日	国頭村 国頭村森林公園	豊かな緑あすの活力	1,690	ツバキ、ツツジ、リュウキュウアセビ
45	平成 6 年 4 月 29 日	恩納村喜瀬武原 喜瀬武原小中学校	森の緑で心の豊かさを	1,500	ツツジ、リュウキュウコクタン、フクギ
48	平成 9 年 4 月 29 日	伊是名村 臨海ふれあい公園	みどりづくり 大地に託す夢・未来	1,276	アカテツ、フクギ、リュウキュウマツ、オオハマボウ等
50	平成 11 年 4 月 29 日	名護市名桜大学	緑とすごそう楽しい未来	2,110	リュウキュウマツ、フクギ、クスノキ、サキシマスオウノキ等
55	平成 16 年 4 月 17 日	伊江村村民レク広場	築こう 緑でつつむ 島の未来	3,000	モクマオウ、テリハボク
58	平成 19 年 4 月 28 日	国頭村くいな エコ・スポレク公園	つくろう 森と水とやすらぎの里	3,309	リュウキュウマツ、モクマオウ、テリハボク他 9 種
59	平成 20 年 5 月 10 日	今帰仁村総合運動公園	引き継ごう 緑豊かな 我が郷土	1,392	アカテツ、フクギ、ハイビスカス、サキシマハマボウ等他 2 種
60	平成 21 年 5 月 9 日	伊平屋村我喜屋ダム	未来へつなごう 豊かな原風景の郷	2,234	ビロウ、ツツジ、タブノキ、クロヨナ他 5 種
62	平成 23 年 5 月 14 日	大宜味村塩屋湾外埋立地 海浜公園「結の浜」	広げよう 緑の自然とぶながやの心	1,500	ツバキ、ハイビスカス
64	平成 25 年 5 月 18 日	金武町「億首ダム」	感じよう 水と緑の豊かな環境	5,400	サクラ、タブノキなどの在来種 (17 種)
66	平成 27 年 5 月 23 日	名護市 なごアグリパーク	未来へつなごう 緑豊かなあけみおのまち・名護	1,500	ケラマツツジ、ヤブツバキ、イジュ他 2 種
69	平成 30 年 5 月 19 日	道の駅 宜野座	宜野座発！！ 水と緑のハーモニー	1,000	クロトン、コパノサンダンカ
71	令和 3 年 2 月 9 日	恩納村 沖縄科学技術大学院大学	広げよう豊かな緑と美しい海を	1,370	オキナワシャリンバイ、ハマヒサカキ、シマヤマヒハツ、ハマジンチョウ、ミニサンダンカ
72	令和 4 年 5 月 28 日	本部町 八重岳桜の森公園	緑よありがとう 心豊かな町づくり	150	カンヒザクラ、ツツジ

(8) 県育樹祭（平成 14 年度で廃止）

回数	開催日	開催場所	大会テーマ	面積 (ha)	樹種
2	昭和 54 年 1 月 10 日	今帰仁村 崎山与保城原	みんなで育てる みどりのふるさと	1.39	イヌマキ
3	昭和 54 年 11 月 15 日	国頭村 宜名真吉波山	育てよう緑の水と 豊かな郷土	9.83	リュウキュウマツ
4	昭和 55 年 11 月 7 日	本部町 大嘉陽前山原	緑できずこう 豊かな未来	1.00	ヒカンザクラ
7	昭和 58 年 11 月 11 日	名護市 21 世紀の森	育てる緑に明るい未来	1.00	モクマオウ、 リュウキュウマツ
11	昭和 62 年 11 月 21 日	名護市 名護城公園万本桜	植えた夢つないで 育てて森づくり	2.00	ヒカンザクラ
15	平成 3 年 11 月 30 日	恩納村県民の森	世界へはばたけ育樹の輪	1.40	ツツジ
20	平成 8 年 11 月 9 日	国頭村森林公園	育樹できずこう緑の美ら 島	0.40	ツバキ、ツツジ、リュウ キュウアセビ
22	平成 10 年 11 月 7 日	恩納村 喜瀬武原小中学校	汗の育樹にかがやく未来	1.00	クスノキ、リュウキュウ コクタン、フクギ、ツツ ジ等
26	平成 14 年 11 月 23 日	伊是名村 臨海ふれあい公園	広げようみどり 豊かな島づくり	0.39	ウバメガシ、フクギ、ア カテツ、リュウキュウマ ツ等

(9) 緑の育樹祭

開催日	開催場所	大会テーマ	樹種
平成 18 年 11 月 25 日	八重岳桜の森公園	太陽と海と緑 みんなで守ろうふる さとの緑	シークワサー、アセローラ
平成 22 年 11 月 20 日	国頭村環境教育セ ンター	育てよう 緑豊かなやすらぎの里	イジュ
平成 25 年 11 月 23 日	今帰仁村総合運動 公園	みんなで育てる 豊かな緑平和なシ マ	アカテツ、クロキ、フクギ
平成 30 年 1 月 20 日	子どもの森広場 (伊江村)	繋げよう みどり豊かな故郷へ	フクギ モクマオウ 他 8 種
令和 5 年 1 月 21 日	道の駅ぎのざ (宜 野座村)	宜野座発！！水と緑のハーモニー	ツツジ

(10)「沖縄県農林漁業賞」市町村別受賞状況(昭和52年～令和5年)

農林漁業の経営改善、技術の近代化及び協業化の推進等で成果をあげ、農林漁家の模範となる実績をおさめた農林漁業者及び農林漁業生産集団の中から特に優秀なものを選定して「沖縄県農林漁業賞（林業部門）」を贈呈して本県農林漁業振興と発展に寄与するものである。

市町村名	受賞数	受賞年
国頭村	4	S53、H2、H12、H26
大宜味村	5	S63、H4、H10、H17、R元、R4
東村	3	S61、H13、H23
今帰仁村	2	H21、R2、R5
本部町	0	
名護市	1	H3
恩納村	1	S59
金武町	2	H25、H27
宜野座村	0	
伊江村	1	H16
伊是名村	0	
計	20	



令和5年度 沖縄県農林漁業賞林業部門伝達式  
 沖縄県農林水産漁業賞（林業部門）受賞：玻名城 政隆



## Wood Start ウッドスタート宣言

沖縄県は、県土全体の約半分が森林に覆われています。沖縄の森林は、琉球王国時代から、三司宮であった蔡温が奔走し、適正な森林管理に努めて守られた歴史を持っています。また戦争を境に大幅に荒廃したのちも、戦後の復興を通じて早く植林に取り組み、適正な整備と管理により、現在、充実した状態が保たれています。

そして、国内でも有数の、貴重な生き物が棲み、その独自の生態系を守り維持してきたやんばるの森は、2021年に世界自然遺産に登録されました。

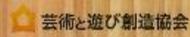
世界に誇る沖縄の森で育った樹木を多くの県民に身近に感じてもらうため、沖縄県と芸術と遊び創造協会は、木育を推進していきます。豊かな自然や身近にある木と触れることにより、豊かな子育て・子育て環境を整えるだけでなく、多様な世代の人たちが木の良さを知り、暮らしに木を取り入れることで、地域材木製品の消費を増やし、そのことが沖縄の森を育て、守ることになるような循環型社会を構築することを目指します。

私たちは、ここに「ウッドスタート」を宣言し、暮らしの中に木を取り入れ、木のもっている可能性を最大限引き出し、それを子育て・子育てに生かす取り組みを、協力し合いながら進めていくことを誓います。

令和5年1月15日



沖縄県



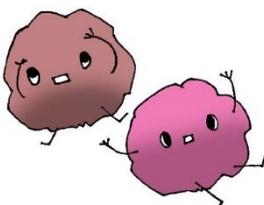
芸術と遊び創造協会

照屋 義典

×

多田 千尋

## きのこキャラクター



キクラゲ



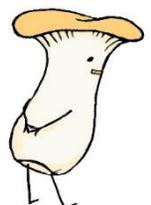
クロアワビ



シイタケ



エノキ



エリンギ



沖縄県はSGEC持続可能な森林管理認証書を保有しています。

SGEC/31-21-1494

[www.sgec-pefcj.jp](http://www.sgec-pefcj.jp)



沖縄県産きのこのロゴマーク